

令和7年1月31日発行

第 121 号

編 集

山本学区社会福祉協議会

広 報 委 員 会

☎874-8218

# とまや協社

## 本号の紙面

- 1 親しみやすい地域包括支援センターを目指して
- 2 小堀会長新年の挨拶
- 3 いきいきサロン／サロン百歳体操／活動拠点活性化支援事業

- 4 5 LMOについて／ボランティアバンク運営委員会
- 6 7 子どもたち（ハロウィンイベント／第2回防災イベント／防災デイキャンプ／子育てサークルふれあい運

- 動会／ドッブビー大会）／お相撲さんがやってくる
- 8 盆踊り大会／敬老フェスティバル／協力へのお礼（義援金、共同募金等）／寄付

**親しみやすい  
地域包括支援  
センターを  
目指して**



祇園・長東地域包括支援センター  
センター長 井上大輔

地域の皆様におかれましては、平素より祇園・長東地域包括支援センターの運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

地域包括支援センターは、高齢者の方が住み慣れた地域で自分らしく生活が続けることができるよう、あらゆる相談に応じる地域の総合相談窓口です。

少子高齢化社会と言われる昨今、山本学区におきましても例外ではなく、年々高齢者の数は増加し、高齢化率は20%を超え、5人に一人は高齢者となっています。

地域包括支援センターでは、できるだけ介護が必要な状態にならないように介護予防に関する取り組みを実施しています。中でも、おもりを活用した筋力運動「いきいき百歳体操」は、山本集会所など山本学区の集会所で毎週取り組んでおり

ます。また、山本集会所ではオンラインでもいきいき百歳体操を実施しています。集会所に行けない方・人の輪に入るのが苦手な方・百歳体操に興味がある方は地域包括支援センターまでご連絡ください。

一方で、高齢社会の進行に伴い認知症高齢者の方も増えております。認知症と聞いて皆さんはどんな印象をお持ちですか？認知症になることは特別なことではありません。誰もが認知症になる可能性があります。

広島市では認知症の人と家族等に優しい地域づくりに取り組んでいます。認知症になったからと言って急にすべてを忘れてたり、何もできなくなったりするわけではありません。早めに病院に行き、相談、治療を受けることや、必要な支援、サービスを利用することでこれまでと変わらない生活を続けることができます。

ご本人は、これからどうなるのか不安を抱えたり、できないことが増えてきていることを自覚していても、自分で認めるのがつらいなどの思いを持ちます。家族も将来の不安や介護疲れ等感じておられる方もいます。

認知症の人と家族等に優しい地域づくりでは、認知症に対する周囲の方、地域の方の理解がとて大切で、もし地域で認知症と思われる方に出会ったら温かく見守っていたらなかつたり、心配な方がおられ

ましたら、地域包括支援センターまでご相談ください。

また、山本学区社会福祉協議会等各種団体の皆様と、高齢者の見守りネットワーク「安心ネット山本」に取り組んでいます。一人暮らしや高齢者のみで生活されている方など、日常生活に不安があり希望される方に、少しでも安心して暮らしていただけるよう、見守り協力員の方が声掛け・見守りを行っています。高齢者の方が立ち寄りやすいパーや金融機関、美容院などのお店の方にもご協力いただき、「見守り協力店」として、お客さんの中で心配な方へ声をかけていただいております。



見守り協力店のステッカー

さいごに、地域包括支援センターは山本学区にお住まいの皆様が協力があつて初めて、高齢者の方が住み慣れた地域で自分らしく生活が続けることができます。これからの頑張り続けていきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

# 新年のあいさつ

山本学区社会福祉協議会

会長 小堀 昭 男



一、はじめに  
皆様、あけましておめでとうございます。  
います。

会長になって4年目になります。2024年度は、やまもと福祉のまちづくりプラン（以後、まちづくりプランと記述）に基づいた取り組みを始めて2年目になります。

66の項目があり、道路や空き家の問題など、すぐには解決できないものもありますが、すべての取り組みを継続していきます。

今年度は、山本学区社協として大きな転機を迎えました。それは、やまもとLMOまちづくり委員会（以後、やまもとLMOと記述）を立ち上げたことです（詳細は4面に記述）。2024年4月に、広島型LMOとして広島市の認定を受けました。まちづくりプランの重点施策を推進するための予算的な裏付けを得て取り組む事ができるようにしました。

また、地域団体連携基金を使っ

て、音響機器を購入しました。体育館等で使用する大型のものと、公園や山本小学校のグラウンド等で使用する電源を必要としない充電式のものです。

住民の皆様にとって、安全で安心できる、住みやすいまちにすることを目標として、活動を続けていきます。本年度も役員を始め構成団体や連携している団体・組織の方々、地域住民、その他、様々な方々にご理解とご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。これからも、よろしくお願います。

## 二、事務局体制の強化について

次年度も、事務局会議（会長、副会長、会計―事務局長兼務―、総務）、委員長会議（事務局会議メンバーと地域福祉推進委員、各委員会委員長）を開催し、事務局員どうしの意思疎通を図り、事務局体制を整えていきます。

委員会活動については、次の六つの活動を行っています。

### ◇総務委員会

- ・毎月のコミュニティカレン
- ・ダアの発行
- ・敬老フェスティバル
- ・「安心ネット山本」の活動

- ・地区社協拠点活性化支援事業（相談受付）

### ◇福祉活動委員会

- ・いきいきサロン（毎月第4土曜日）
- ・サロン百歳体操（毎週水曜日）

### ◇ボランティアバンク運営委員会

- ・除草作業等
- ・車いすの貸し出し（詳細は5面に記述）

### ◇広報委員会

- ・広報紙「社協やまもと」の発行
- ・福祉のまちづくり委員会（旧名称「区政懇談会」）

山本学区からの要望書を提出し、回答を聴く会へ出席

### ◇ICT委員会

- ・ホームページの更新

## 三、安心ネット山本について

令和6年12月現在、登録者数22人、協力員16人です。幹事会、運営委員会の開催、見守り協力員の交流会を実施しています。

2022年から始めた取り組みで、見守り協力店として、店頭がよく見える場所に、ステッカーをはってもらい、見守り活動に協力してもらおうよう依頼をしてきています。2024年度は25店舗に増加しました。さらなる取り組みを続けていきます。

## 四、山本集会所の運営について

利用者が増加しつつあります。12月に、自動販売機を設置しました。山本集会所は山本学区社会福祉協議会の拠点であり、地域コミュニティづくりの活動拠点です。地域活動に寄与する観点からも必要な集会施設です。多くの方に使用していただきますよう、よろしくお願います。

## 五、おわりに

山本学区の福祉活動を日々、行っている組織・団体は、住民が安全で安心できる、住みやすいまちにすることを目標としています。様々な活動をする中で、顔なじみの関係が地域の中にたくさんできつつあります。そのことを通じて、みんなの力が結集されてできる地域としての総合力（まとまり）がより強固なものになると思っています。

今現在、山本学区社協の活動は、区社協等からの補助金もありますが、自治会費の一部を拠出いただくと、自治会に加入しておられる方は退会せず、未加入の方は加入していただきたいと思っています。山本学区における社会福祉のための活動を維持発展させていくために、皆様の協力をよろしくお願います。

# 「いきいきサロン」へ

山本学区社会福祉協議会  
福祉活動委員 田中啓子

私が「いきいきサロン」のお手伝いを始めて、早2年半になりました。初めてのサロンで「楽しい！来月も行きたい！」と感じて以来、一人でも多くの人と集いの喜びを分かち合いたいと思っています。

五節句や節分の行事も盛り込みたいのですが、例会が毎月第4土曜日なのでタイミングがずれません。昨年6月22日は、七夕の笹飾りを作りました。7月



8月は舞台上に飾り、折り紙で作った天の川・鶴・提灯・願い事を書いた短冊などは、とんど祭りで焚きました。願い事は天まで届いたでしょうか。毎回、小堀会長のギター、舛田さんのアルトサクソ、牧村さんのピアノによる演奏があります。9月はLMOの沖野さんがウクレレとボーカルで初参加しました。

毎月第4土曜の10時に山本集会所2階ホールで、皆様のお越しをお待ちしています。



飾り物作り

## サロン百歳体操

山本学区社会福祉協議会  
事務局長 舛田光司

山本・春日野・祇園地区の13カ所で、いきいき百歳体操が行われています。当山本学区では、毎週水曜日の午前10時から約1時間、山本集会所と丸子集会所で行っています。

令和3年3月からスタートした「サロン百歳体操」も4年目を迎え、毎回2カ所の集会所に80人、ネットドで各家庭から参加する人が20人と、スタッフを含め百人前後の人が参加されています。高齢者の筋力アップや健康増



進、転倒やけがの予防はもちろん人との交流、地域コミュニケーションの活性化に繋がっていると思います。



高齢者には教育と教養が大切と言われていますが、「今日、行く所があり、今日用がある」を実践する「サロン百歳体操」に参加しませんか？ スタッフ一同お待ちしております。

## 地区社協活動拠点 活性化支援事業

山本学区社会福祉協議会  
会長 小堀昭男

地区社協活動拠点活性化支援事業とは、2023年4月から相談窓口を社協事務所に開設し、相談を受け、場合によっては関係機関とのつなぎをする事業です。現在、山本集会所内にある山本学区社協事務所をその場所としています。相談受付日時は、毎週、水・木・金曜日、午前9時半から11時半までです。山本学区社協役員、民生委員

等が一人体制で待機しています。常設の日時以外は、留守番電話での対応となります。相談員が常駐する日に、留守番電話を確認して取り組みをします。



これまでにあった相談内容は、車いすの貸し出し、除草、敬老フェスティバル、百歳体操、いきいきサロン、山本集会所の使用等についてのもです。10月30日には、スタッフの知識を高めるために研修会を実施しました。人権擁護委員の清信環さんから、人権に関わる現状と問題点について、保護司の馬場秀樹さんから、山本学区における取り組みについて、それぞれのお話を聴きました。気軽に、連絡してください。また、集会所に来ていただいてもいいです。

山本学区社協と住民の方々の相互理解をすすめていき、協力体制を築いていくことが大切だと思っています。山本4丁目9-3-4 山本集会所内 山本学区社協事務所 082-871-8422



やまもとLMOまちづくり委員会  
会長 小堀 昭男

一、はじめに

LMOとは、「地域運営組織」  
地域・ローカル(L)  
運営・マネージメント(M)  
組織・オーガニゼーション(O)  
の略称です。

令和4年(2022年)2月、  
広島市が取り組みを推進する「広  
島型地域運営組織(ひろしまLM  
O)」を受け、山本学区では、やま  
もとLMOまちづくり委員会(や  
まもとLMO)を設立し、2024  
年4月、広島型LMOとしての認  
定を受けました。事務局は、やま  
もと集会所1階の右側奥の部屋で  
す。

山本学区には、43の組織・団体  
があります。「やまもとLMO」  
と協定を結んでいるのは34の団  
体・組織です。役員12人は、山本  
学区社協の役員を兼ねています。  
協定を結んでいる組織・団体から  
選出される委員は、それぞれの長  
の方になつてもらっています。  
補助金総額600万円、内訳は、

人件費300万円、事務所の維持・  
運営費と活動費300万円です。  
本年度、広島型LMOの取り組  
みが国の取り組みとして認定され  
ることになり、この事業の継続が  
確保されました。

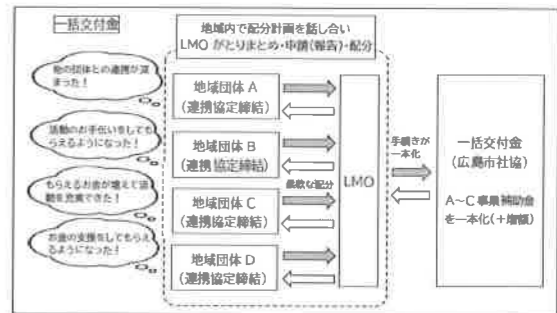
二、新たな補助制度

令和6年度(2024年度)以  
降、各種地域団体のこれまでの活  
動が継続できるよう留意しながら、  
様々な部署から交付している補助  
金について、補助率を統一、一本  
化した上で交付し、地域の実情に  
合わせて各種地域団体に柔軟に配  
分することができると新たな補助制  
度が創設されました。

現在、一括交付金(従来の1.5倍)  
を受けている組織は、青少協、体  
協、社協です。

2025年度より、新たに、子  
ども会が加わります。2022年  
から休止している子ども会連合会  
が、「子ども会育成会」として新た  
な形で山本学区社協の構成団体と  
して復帰し、やまもとLMOと協  
定を結び、活動をしていくことにな  
ります。一度、活動が休止になっ  
た団体が、2、3年後に復帰する  
ことは、あまり例がありません。  
子ども会活動の復帰に向けて、あ  
きらめず、この2年、関係者でドッ

ナビ大会を開催して、何とかし  
て、まちづくりプランの重点施策  
である、



子ども会  
活動を再  
開させた  
いの思  
いが実現  
すること  
になりました。  
皆様の協  
力をよろ  
しくお願  
いします。

三、本年度取り組みについて

防犯活動

防犯青色回転パトロール活動

2024年9月より、防犯青色  
回転パトロール活動を開始しまし  
た。やまもとLMOの構成団体に  
運転者、同乗者の呼びかけをし、  
31人の方に参加してもらうことにな  
りました。二人組で順番を決め、  
現在、月々金の毎日、3時から4  
時くらいの1時間、地域の方に録  
音してもらった音声を流しながら  
のパトロール活動を実施していま  
す。それまでは、防犯組合の方の  
個人の車を使用し、毎週2回のパ



中国新聞掲載

なお、朝の交通安全見守り活動  
は、「つながる会」(山本小学校P  
TAの組織)で、有志30人前後の  
スタッフが毎日、行っています。  
犯罪の抑止力になると同時に、小  
学生はもちろん、地域の方にも安  
心感をもってもらうことになると  
思っています。

防災活動

①伝承館の見学

山本学区の今後の防災に対する  
取り組みとして、2014年に土  
砂災害を経験された八木地区を訪  
問しました。伝承館や砂防ダムの  
見学、現地の人々の体験談や現地の  
復興の様子などを見聞きました。

山本学区で今後、何ができるの  
かを考え、実行することが大切で  
あるとの思いを強くしました。

②備蓄倉庫の新設

山本集会所の裏に今は使われな  
い洗濯物干し場があり、そこを利  
用して防災のための備蓄倉庫を新  
設しました。山本小学校にも備蓄  
倉庫がありますが、すでにいつば  
いであるため、さらに必要なもの  
を収納しておくために、4、5人  
の素人の  
役員で、  
なんとか  
作りまし  
た。広さ  
もかなり  
あり、十  
分、役立  
つと思っ  
ています。



砂防堰堤の見学

行事の取り組み

①盆踊り大会

(詳細は8面に記述)

②敬老フェスティバル

(詳細は8面に記述)

③「やまもとふれあい祭」

山本学区では、初めての行事  
です。敬老フェスティバルと同  
日開催で2025年11月22日  
(土)に開催します。

みんなのまちの掲示板の作成

地域の

情報を収  
集し、モ  
ニターを  
拠点に設  
置してみ  
んなが観  
られる地  
域の掲示  
板の開設  
を目標と  
しています。



ICT勉強会

四、おわりに

今後の予定としては、8・20防  
災集会、子ども会育成会の活動、

地域の皆様に寄り添う ボランティアバンクへ!!

ボランティアバンク運営委員会

委員長 大江 敏 則

地域にお住まいの高齢者・身体

が不自由で不便を感じられている  
方々などに

- 庭の草取り、ポットの植物の  
植え替え
- 庭のホースの交換
- 室内の電灯の交換
- 少しでもお役に立てるよう窓口  
を開設しております。
- 歩行困難な
- 高齢者の方
- 病気の方
- けがをした方

貸出期間は1日から3カ月間で  
す。車椅子の貸し出し、返却の相  
談窓口を開設しております。  
毎週水・木・金曜日山本学区社  
会福祉  
協議会  
事務所  
におい  
て活動  
性化事  
業のスタッ  
プが駐在  
しております。  
それ以外の  
時間は留守  
番電話で受  
け付け、駐  
在時に対応  
します。集  
会所への訪  
問、電話を  
お待ちしております。



貸し出し用車椅子

(082-871-8422)

がんばれ

# 山本地区の子どもたち

(小堀組・寺山・畑組子育てサークル・ドッチビー)

## ハロウィンイベント

小堀組子ども会

会長 渡 辺 菜 穂

地域の皆様には、平素より子ども会の活動にご理解と、ご協力をいただき感謝申し上げます。まだまだ暑さが残る10月27日、青組地区合同で、ハロウィンイベントを開催致しました

ハロウィンイベントは子ども達がとても楽しみにしている定番イベントです。

今回も全地区参加にさせていただき、かねてからお世話になっていられることも110番の家を、地区ごとに訪問させていただきました。一年生会員の皆に、110番の家を知ってもらいたかったという意図もあります。

参加人数はなんと70人超え。たくさん子ども達が参加してくれました。訪問させて頂いた皆様、快く迎えてくださり、ありがとうございます。この場を借りて、お礼申し上げます。そして運営やお手伝いしてくださった皆様、本



ハロウィンイベント

当にありがとうございました。

110番の家を訪問したあと、各地区は、丸子集会所に集合です。中を大改造させていただいて、お化け屋敷を開催いたしました。

お化け役にはなんと：子ども会員の6年生や中学生の子ども達。休憩なし、2時間ずっとお化け役として、参加してくれて、みんなを怖がらせてくれました。

子どもってホントにすごいんです。お化け屋敷に怖くて入れない声をかけ、おんぶして一緒に入る。「私も6年生になったらおばけしたい！」とスタッフをやるうとしてくれる。

スタッフの高学年の背中を見て、自ら動く。考える。関わる。そして楽しむ。同世代だけではない、

大人と子ども、他学年等、いろいろな価値観に触れることの魅力を感じたイベントでした。一番わたしが余裕なく、子どもだったかもしれません。(笑)。

子ども会の活動は子ども達と共に、たくさんのご縁を繋げていける場所であるように、これからも活動を続けていきます。

子ども会の活動が気になる方は、ぜひ一度遊びに来てください！いつでもお待ちしております！

## 第2回防災イベント

寺山子ども会

会長 四 方 夕 子

11月17日(日)、寺山子ども会で「第2回防災イベント」を開催しました。

はじめに、防災士の方と、寺山地区ウォークラリーを行い、普段の道路

状況やため池・川の様子を



観察しました。「これが大雨の時にはどうなる？」など、子ども達へ問いかけました。通学路でもあるため、関心が高く賑やかに行うことが出来ました。

ウォークラリー後は、山本集会所へ移動し、「寺山の歴史」避難レベルについて「等のお話や、山本集会所の備蓄倉庫も見学させていただきました。

そして、白熱した段ボールベツドの組み立て競争や、「避難時に何を持っていく？」を考える機会にもなる「防災リュックぬりえ」を行いました。

「電池は必要？」「懐中電灯も！」「ゲームも絶対！」など、考えが出ていました。

防災企画が「勉強」というイメージが少しある中、終えるまではハラハラしましたが、子ども達の楽しそうな姿を見る事が出来、防災についても子ども会活動を通して、日常のすぐ隣にあるものとして伝わっていただければと思っています。



### 防災デイキャンプ

烟組自治会

子ども担当 高木理恵

11月9日(土)、防災災害ボランティア活動支援チーム(5Kチーム)から、キャンプと遊びの達人をお迎えして、小学生を対象にした「防災デイキャンプ」を開催しました。

土砂災害区域を知る座学から始まり、様々な火起こし体験、その火を使ったカレーライスや焼き芋づくり、さらには竹コップや竹箸作り、段ボールベッドの寝心地体験!

外での昼食を挟んで1日がかりの活動でしたが、終始子どもたちの笑顔で溢れた1日となりました。今後とも地域の方のお力添えのもと、子どもたちと一緒に防災力を高めていけたらと思います。



火起こし体験

### 山本地区子育てサークル ふれあい運動会

山本地区子育てサークル

のんたんランド

代表 田村佳菜

毎年、秋に開催されている『ふれあい運動会』。今年度も山本地区社会福祉協議会の役員のみなさんをはじめ、地域の方々、そして、

「祇園西公民館だより」での広報より、一般の親子さんにも参加してもらい、楽しい時間を一緒に過ごせました。



今回、子どもたちへのご褒美メダルは、いきいきサロンのみなさんに協力していただき、一緒に作りました。走り終わった子どもたちの首元には、素敵なメダルが輝いていました。子どもたちの楽しそうな声を聞いて、今回も運動会を開催することができて良かったな、と感じました。

### ドッチビー大会

大会世話人

尼子一高

今年度も、山本地区連合自治会と山本地区社会福祉協議会の協力をいただき、山本小学校体育館でドッチビー大会を開催する事ができました。



昨年と同じ形で11月24日に高学年、12月8日に低学年で実施しました。人数は児童・保護者・運営の手伝いを合わせて両日で約130人程度集まりました。昨年より若干少なかったですが、子ども達は元気にドッチビーで楽しんでいました。

この大会は有志7人で計画し、その日のお手伝いは、大会を見学に来た保護者に声掛けして、みんなに手伝ってもらいながら行っています。一番の目的が子ども達に楽しんでもらう事なので、今までのような大きな負担がない事もあり、手伝ってくれる保護者と一緒に楽しみながら出来ていると思います。この大会は、友達どうしではなく、当日に集まった子ども達に、番号で

人数を振り分け、異学年混合でその場でチームを決定します。異学年で交流ができるのは、子ども達にとっても貴重な経験だと思います。休み時間に低学年と遊んでいるお兄ちゃんお姉ちゃんをみると、やって良かったと思います。

何より、子ども達が「一喜一憂する姿は微笑ましいですし、「来年またあれば来ます!」と笑顔で言ってくれるので、来年への活力になります。毎年実施する事で、子ども達は異学年の知り合いが増え、保護者どうしもつながって、ドッチビー以外の行事もできればと思っています。

皆様の協力を得ながら今後も活動が出来ればと思っております。来年度も多くの人の参加をお待ちしています。

### お相撲さんがやってくる!!

山本に田子ノ浦部屋の合宿所ができる話が進行中

田子ノ浦部屋 & 山本

着々と広島市に近づいています!!

### 盆踊り大会

山本地区盆踊り大会実行委員会

実行委員長 谷 口 正 行

8月5日(土)の夕刻、山本小学校校庭で、山本地区盆踊り大会が開かれました。本年度は、やまもとLMOまちづくり委員会などの支援もあり、やぐらの組み立て、撤去の外注化が実現しました。

一昨年は、コロナ禍後の4年ぶりの開催で、先導者がいなくて踊りの輪が途切れてしまいました。

この教訓をもとに、今回は踊りの事前練習を、山本集会所で5回、山本幼稚園で1回行いました。祭り当日は、この有志の方々の先導で踊りの輪は途切れることなく繋がっていきました。

夜店や花火にくじ引きなど多彩な内容で、地域挙げての一大イベントとなりました。皆さまのご支援、ご協力に深謝いたします。



### 「うちわ」が大活躍の敬老フェスティバル

山本学区社会福祉協議会

副会長 藤 田 浩

35℃超えの猛暑日が続く9月14日(土)、山本小学校体育館で「やまもとLMOまちづくり委員会」と共催で敬老フェスティバルを開催しました。

今回は暑さ対策として、スポットクーラー4台を設置しての開催でしたが、会場の熱気に押されてか、「うちわ」で扇ぐ方々がほとんどでした。この「うちわ」には山本小学校4年生児童の「長寿へのねぎらいと感謝」の思いが描かれ、涼を取るためにも中々好評だったようです。前回より40人多い219人の招待者が出席され、一般参加の皆さんとともにお祝いしました。

式典では、実行委員長の挨拶に続き、来賓の山本小学校児童および祇園中学校生徒から元気になるお祝いの言葉をいただきました。アトラクションでは、おなじみの演目のほか、山本幼稚園園児の元気な歌、久しぶりの和太鼓などを楽しんでいただきました。

この度初めての試みで、出席され



方からアンケートに答えたいいただきました。会場が、会場の音響のこと、暑さ対策のことなど、ご指摘いただきました。次回は開催時期も含めて検討したいと思えます。

最後に、当日の会場づくりには早朝よりお手伝いいただいた祇園中学校バレーボール部の皆さんを始め、関係各団体および地域の方々のご協力に感謝申し上げます。

「ご協力ありがとうございました」

能登豪雨災害義援金

85000円

7月大雨災害義援金

62000円

区社協を通して被災地に送っています。ご協力ありがとうございました。

献血

令和6年12月7日(土)、山本公

衛協、山本社協、広島北ライオンズクラブの共催による「献血助け合い運動」が実施され、82人の方々の参加を頂きました。

町内美化ボランティア活動

令和6年12月7日(土)、青少年健全育成連絡協議会主催の美化活動で、総勢150人が、6コースに分かれてごみを収集しました。

年末警戒統一パトロール

令和6年12月15日(日)、防犯組合主催の年末警戒統一パトロールが実施され、地域の皆様と4コースに分かれて巡回しました。

赤い羽根共同募金

17302円

区社協に送っています。ご協力ありがとうございました。

寄付

山本五丁目 伊藤 洋子様

物故者 伊藤 博明様

ご厚志に対し、心よりお礼申し上げます。福祉活動のために有意義に活用させていただきます。